

葉面の成分イメージング: 凹凸のある葉面の圧搾サンプリング

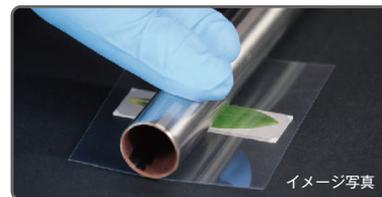
■ 測定の課題

葉の代謝物を葉面内で分析する場合、葉そのものが薄いため薄切サンプリングは難しく、葉をそのまま導入しても葉面の凹凸などの影響から実施できるサンプルは限られる。

■ アプローチ

ツツジの葉面全体を、Poropare上で圧搾してサンプリングした。転写後のPoropareは追加処理せず、質量分析イメージングを実施した。

■ 測定手順



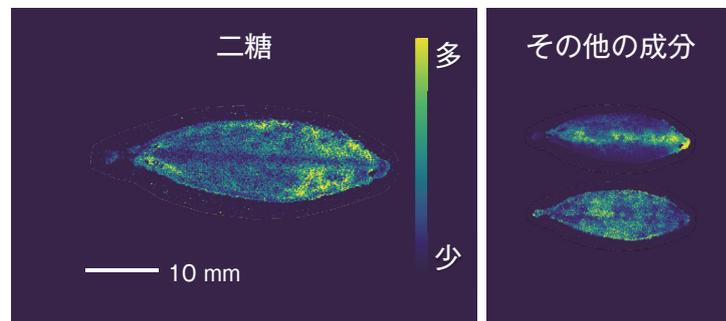
葉面を圧搾



そのまま装置へ!

Poropareの活用結果

- 葉の代謝物を葉面全体で可視化
- 凹凸のある葉面も質量分析イメージングが可能
圧搾による分布の乱れも懸念されたが、Poropareの吸水性により局在を維持したイメージングが得られた。



※この資料の内容は、2025年5月現在のものです。仕様・性能は改良のため予告なく変更することがあります。

この製品について、ご意見・ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE www.hamamatsu.com

電子管事業部 〒438-0193 静岡県磐田市下神増314-5 ☎ (0539) 62-5245 ファックス (0539) 62-2205

問合せ先: 吉新 英朗 msi-t001@hpk.co.jp